

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後スペースいつざいや		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日 ～ 2024年12月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2024年12月1日 ～ 2024年12月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	豊富なスタッフ ～決して人員不足にならない「仕組み」がある～	現役大学生・大学院生が約70名登録している 必要用件の有資格者以外に、常時プラス2名の指導員が勤務している	学生スタッフの質と量を更に増強する 理系・スポーツ・教育・福祉等、多岐に渡る専門分野のスタッフを常備している
2	独自のキャリアサポート ～高校卒業資格が得られる進路獲得を「コミット」～	2005年の法人設立時より、主に女性のキャリアサポート企業として重厚な実績がある	阪神地区の高卒資格を得られる学校法人と2018年9月18日に業務提携し、中学校卒業移行の進路のサポート強化
3	地域・学校園と強固な連携 ～地域あつての当事業所がある「信念」に基づいている～	地域最大級の地域イベント「大甲東宴」(参加33団体1300名動員)を自社主催 このイベント等で地域・学校と密接な関係を築く	公園を使用する際には、清掃をするなど地域にお役立て出来るようにしている

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	自動車による送迎は実施していない	小学生に於いては、通所2年を目安に自力通所できる成長を促す(徒歩・自転車・公共交通機関等)	安全な歩行を指導する 「自力通所してみたい」という心理的成長を重視する
2	作業・言語等の専門療育は実施していない	学習サポートに特化している 阪神地区において進路選択に「学習」は必須と考えている	通所児童自身が学習・学習計画・進路選択を自力で行うことが「意志決定」の療育となる
3	通所児童への個別療育は実施していない	18歳以降、現代社会において集団活動回避の生活は現実的ではない 故に「集合体」を大切にする	テーブルトーク「人前で話す」以上に最大8名の場で自分の役割を全うして、その場を成立させる練習をする